

## 県内景況情報

6月期

## 製造業

## 〈食料品〉

## 〔パン・菓子製造業〕

原材料の高騰や人材不足が継続しているが、入手困難になっていた卵などの主原料が少し落ち着きをみせ、安定的な製造が行えるようになってきた。一部地域では増加しているがコロナへの不安が少なくなり観光やイベントの動きが活発になってきて土産を含む購買力も強くなってきた。

## 〈繊維工業〉

## 〔和装製品・その他の衣服・繊維製身の回り品製造業〕

この1ヶ月、特に大きな景況感の変化は認められない。

## 〈木材・木製品〉

## 〔家具製造業〕

原材料・エネルギー価格の高騰継続によるコスト負担増など先行き不安は根強く厳しい現状が続いている。

## 〈窯業・土石製品〉

## 〔碎石製造業〕

依然として販売数量増大に結び付くものがなく、エネルギーコストは厳しく響いており経営的に厳しい状況が継続している。

## 〈鉄鋼・金属〉

## 〔鉄素形材製造業〕

前年と比べ、売り上げも伸び、受注価格も上昇しているが、材料費高騰分の価格転嫁がようやく進んだ結果であり、いわゆる持続可能な受注価格までには届いていない。電気料金、労務費等の上昇分をほぼ認めてもらえた会員企業は3割程度に過ぎず、半分程度認めてもらえた会員が多く、まだ値上げ交渉を継続中の会員が多い。

## 〈一般機器〉

## 〔一般機械器具製造業〕

電力使用量は前年同月比95.4%（前々年同月比102.6%）脱コロナ社会の中で売上増加、操業度上昇傾向にあると思われ、価格の高騰影響を受け停滞していた設備投資計画に進捗が見られる。

## 〈その他の製造業〉

## 〔畳等生活雑貨品製造業〕

梅雨時に入り、受注が梅雨後に少し多くなったが、例年とほぼ同様の仕事量でほっとした。しかし、7月・8月と天候不順や台風・豪雨（線状降水帯）等を危惧している。見通しが立てにくい。

## 非製造業

## 〈小売業〉

## 〔食肉小売業〕

仕入価格の上昇に一服感はあるが、人件費の上昇は歯止めがかからない。

## 〈卸売業〉

## 〔生鮮魚類卸売業〕

コロナ終息せずV字回復は、見込めなさそうに感じる。ゼロゼロ融資の返済が始まるのも、景気の上昇に悪影響を及ぼしているのではないかと。

## 〈商店街〉

## 〔朝倉市〕

商店街の空き店舗状況について、新規参入店が増加したので好転した。また、新規店舗が売上好転となり、さらに新入業種が増える相乗効果が見られ、既存の店舗にも好影響を及ぼす結果となっている。

## 〔福岡市〕

6月に入り本格的に山笠バージョンに突入り、アーケード内にも長法被姿がみられ、7月の博多祇園山笠の準備に追われている。インバウンドも多くなり、どんたくに続く祭り続きで、人出も多くなり気分的には良くなっている。6月26日からプレミアム商品券を販売開始した。

## 〈サービス業〉

## 〔リネンサプライ業〕

インバウンドの回復等のお陰で、取引量がだいぶ戻ってきてはいるが、コロナ前までとはいかない。顧客先である飲食業そして業界内の人出不足が深刻で、フル稼働できない状態が続いている。

## 〈建設業〉

## 〔総合工事業〕

資材価格が高止まりしており、今後の経営への影響が引き続き心配される。以前より建設業界の人手不足が指摘されているが、最近下請け業者の確保が難しくなっており、特に若手の建設技能者の不足が顕著である。

## 〔電気工事業〕

業界の業況（売上）はコロナ前の状態に戻って安定している。しかしながら、人手不足の問題が大きく、若年者の業界就労の促進が喫緊の課題である。

## 〈運輸業〉

## 〔道路貨物運送業〕

軽油、ガソリンなどの価格の上昇分を石油元売事業者が補助する燃料油価格激変緩和措置が補助上限額を6月から2週ごとに10分の1ずつ引き下げており、9月末で終了する見込みとなった。原油価格の高騰が長期化する中、燃料コスト抑制に一定の成果を上げてきた。措置が終了し、燃料価格の更なる上昇は事業者にとって非常に厳しい経営環境が予想される。

# 福岡県の業種別D・I値の変化

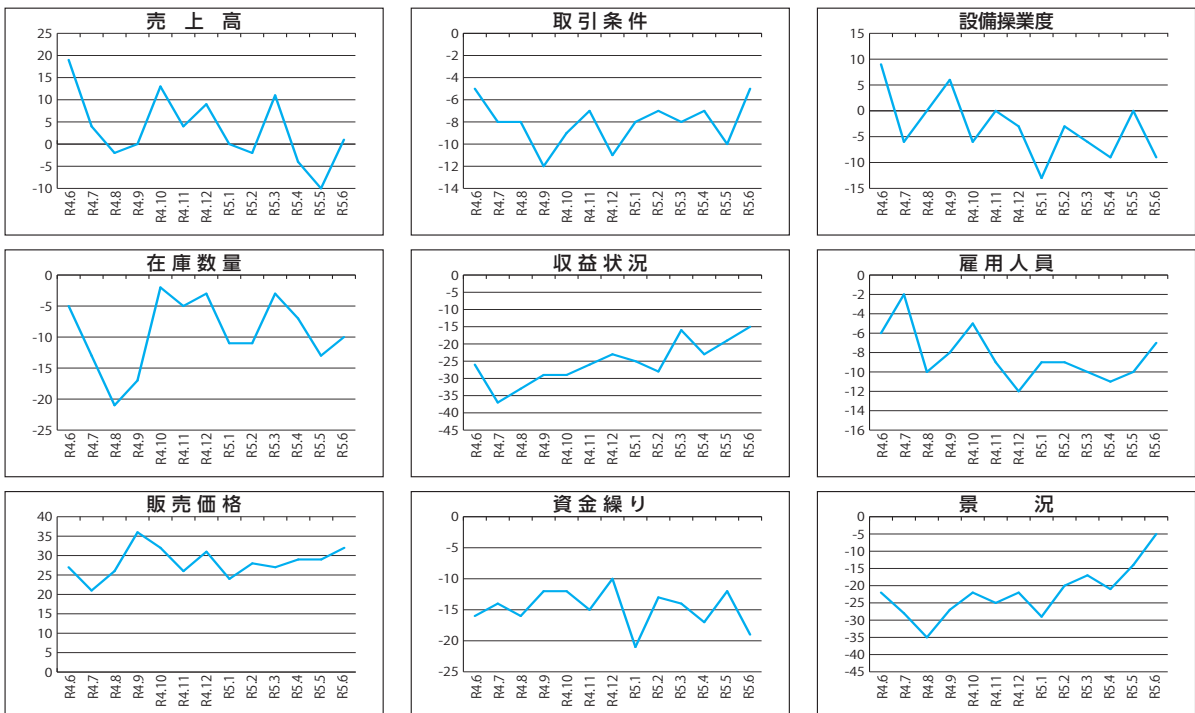
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↑	→	→	→	→	→	→	→	→
	繊維・同製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	木材・木製品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	印刷	→	↗	↑	→	↗	↗	↓	→	→
	窯業・土石製品	↓	→	↑	→	→	→	→	→	↓
	鉄鋼・金属	↑	→	↑	→	→	→	→	→	↑
	一般機器	→	→	→	↑	→	→	→	→	→
	電気機器	→	→	→	→	→	↓	↓	→	↗
非製造業	卸売業	↓	→	↑	→	↓	→	—	→	↓
	小売業	→	→	→	→	↓	→	—	→	→
	商店街	↑	→	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	↑	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	その他	→	—	→	→	→	→	—	→	→
D・I		1	-10	32	-5	-15	-19	-9	-7	-5

↑ 増加・上昇・好転    ↗ 増加・上昇・好転の傾向    → 不変    ↓ 減少・下落・悪化の傾向    ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは…Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、企業の業界感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。前年同月に比べ「好転」・「増加」したとする割合から「悪化」・「減少」したとする割合を差し引いた値。

●前月比D・Iの動きをみると、売上高、在庫数量、販売価格、取引条件等が改善したことで、総じて業界の景況も改善してると思われる。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <https://www.chuokai.or.jp/>